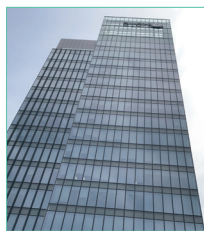




おすぎ

それでも
キンプリの話
しています

こんにちは、おすぎです。いかがお過ごしでしょうか？
「KING OF PRISMから緊急招集」の話をしようと思います。



今は無き、南青山のエイベックス本社に遊びに行った時の写真です

まだこの話をしていますが、あの「KING OF PRISM」の続編がもうすぐみたいです。なぜなら2月28日に映画館に呼び出されています。舞台挨拶をやるので全国でライブビューイングをするよ！だそうです。なるほど、これは続編の公開日が決まりましたね？なにかとは言われてないですけど、大事な発表がある時はいつもこのように招集がかかります。分かりました、そのように心積もりをしていきます。くす玉を持っていきますね。この時ばかりはみな、何かなんでも映画館に行くと言う気迫がすごいです。私も張り切って行ってきますね。

最近の映画館はいろんな上映の仕方をしていて面白いですよね。応援上映は一般的な企画になってきていますし、設備の進化もすごいです。最近ヒプノシスマイクが行っている観客の投票でストーリーが決まるインタラクティブ映画というのがありますね。すごくないですか？リアルタイムに観る映画内容が変わるんですよ。ヒプノシスマイクはラップバトルをするので、ぴったりのシステムですよ。でもこれってシミュレーションゲームのかい版では？と気づいてしまいました。今後、よりいろんな使い方が…できますよね…？(天才かも知れない)



エイベックス本社で食べたカレーです

今回の学び 映画館で乙女ゲームできるかも！

アジアを代表するデュオ

CHAGE vol.7
and ASKA



おが

最近、チャゲアスが過小評価されているなと感じるので、もっとチャゲアの魅力を伝えるべく、今回は予定通り「**比喩表現の神**」と言われているASKAのつづる歌詞について勝手に紹介します。※一部では神諭(かみゆ)と言われていますww

正直、比喩について詳しく説明できるわけではなく、ASKAがつづる歌詞がとても良い、歌もうまいし作る曲は最上級、やっぱりチャゲアスはすごいわねえと思ってます！

私は小さい頃から歌詞を気にしないで生きてきました、曲調が好きかどうかでCDを買っていたし、歌詞に共感したとか励まされたとか正直ピンとこない。大好きなチャゲアスですら、大人になってちゃんと歌詞と向き合った始末…

探さなくても「ASKA 比喩表現」で検索したら、たくさんの方が神様っぷりを語ってらっしゃるので、ぜひその記事も読んで欲しいんですが、今回は個人的に印象に残っている歌詞を少し紹介します。

「どうってことないさ」

その娘はちゃっかり腕をつかんで
惜しみなく身体を 僕に寄せて歩いた
僕にもしっかり彼女はいるけど
振り解く強さも そんな冷たさもなくて
僕のエンタープライズ
操縦不能でカーク船長どこへ

「One Day」

涙してみようか 舌出してみようか
oh darling 宙ぶらりん
頼りたい 愛されたい OneDay OneDay
誰にだって防げないさ どうしたって悪い日は
地雷と番犬と腰に機関銃
ドイツ製でもダメでしょう

ASKAの書く歌詞って本当に浮ついた男心が多くて、揺れ動く心を「操縦不能でカーク船長どこへ」とかちょっと時代を感じるんだけど、その表現力に脱帽。「One Day」はどうしたってダメな日を明るい曲調で乗り切ろうって曲なんですけど、「地雷と番犬と腰に機関銃」って…最強装備www 言葉選びが天才だなんて思ったことをきっかけに、ちゃんと歌詞を聞くようになりました。「You are Free」と言う別れの曲もすごく歌詞がよくてチャゲアスの中で一番好きな曲です。

私自身もう一度、歌の解釈や歌詞を大切にしようと、新たな気持ちでチャゲアス(限定)を聞いてますwww ぜひ、もう一度懐かしのCHAGE&ASKAに耳を傾けてみてください！

ゲレンデがとけるほど…

2月7日(金)



今夜は積もるかもしれない

太平洋側ではネ 数cmの雪でネ **大パニック** 😲
わが家のある団地は丘の上。
出入り口となる坂道が凍結しては一大事なので、
積雪前に**融雪剤(凍結防止剤)**の散布が必須です。

団地の当該地区組長が担当
(年ごとローテで3年前は私)、
他の年でも在宅時には
力仕事に加勢します。



重いし、冷たいし、**大変!**
スコップで満遍なくってのも結構むずかしい… 😞

2月8日(土)



絶好調 😊

至る所で撒かれた融雪剤を見かけると「ご苦労様」って感謝するのです。



平田

よもやまばなし

弥生：梅の間

昨日は雪がチラホラ…寒い〜と思ったら、今日はポカポカ陽気…こんな時期の寒暖差疲労にはご注意ください！
体の中、外からあったかくして、適度な運動、腸内環境を整え、時には大きな深呼吸をしてみてください。気持ちも一緒にスッキリ!! ああ、春がまちどおしい〜

花は桜木…

3月といえば春の始まる月というイメージでも暦の上での立春は2月。立春というのは、二十四節気の第10 正月節(旧暦12月後半から1月前半)のこと、実際はこの頃が旧正月とゆうことだね。現代の暦では正月は真冬だけど、歌舞伎なんかで、正月早々「こいつめ春から縁起がーおい!!」なんてセリフが出てくるのは、正月が元々立春の時期だったからなんだね。

ところで、春といえば「桜」だね、日本人の心の奥深くに染み込んでいる花。日本には古くから野生種の桜が自生していて、春になるヒョウに花を咲かせ、春の訪れを知らせる。「ヤマザクラ」、「エドヒガン」、「オオシマザクラ」が野生種を代表する3種だそう。春にはなくてはならない日本の「華」だね。

桜の代名詞といえば、「ソメイヨシノ」だろうか。桜の歴史については、細かい定義を言うともすごく複雑で、説明も長くなっちゃうからここではザックリ説明なんだけど、江戸時代、江戸の植木職人さんが「エドヒガン」と「オオシマザクラ」を接木して作って、それが爆発的に広まったってことらしい。

もともと花見といえば梅の花が主流だったみたいで、ソメイヨシノの誕生から、花見といえば「桜」になった。なので「花見=桜」となったのは意外と最近ということみたい。

3月は今までの生活からの「別れ」の季節でもあるけれど、悔いのないよう足元を見つめ直して、4月から次のステージへ向かって突き進もうではありませんか。さあ、もう一花咲かせましょうか!!

